

第50回 令和5年人事院勧告と私学の賃金問題講座

日時 ・ 会場	【大阪】 大阪ガーデンパレス (定員: 100名) 2023年9月20日(水) 13:00 ~ 16:15 (受付 12時より)	【東京】 東京ガーデンパレス (定員: 100名) 2023年9月28日(木) 13:00 ~ 16:15 (受付 12時より)
	参加料 会員: 1名無料、追加5,500円 / 一般: 19,800円 ※ 本セミナーは録画し、動画を提供する予定です(会員限定・無料)。ご参加できなかった方は録画視聴をお申込みください。 ※ 一般の方には、DVDを販売(19,800円消費税込)する予定です。申込フォームよりお申し込みください。	

プログラムと講師略歴

■ 13:00 ~ 14:30

とうこ きいち

東 狐 貴 一 氏 [(公財) 日本生産性本部 大学人事戦略クラスター主席研究員]

競争力向上と経営健全化を両立する賃金制度の設計

1. 民間企業の賃金制度改定トレンド
2. 学校における職種別賃金の状況
3. 学校法人に適した賃金制度と評価制度
4. まとめ: 競争力のある組織作りに向けて

— 令和5年人事院勧告 民間給与実態調査データ分析 —

日本生産性本部認定経営コンサルタント、MBA(経営管理修士)。主要担当領域は、企業・大学・自治体などへの人事処遇制度の設計・構築・導入支援、考課者訓練・目標設定研修講師など。主な著書・論文に「日本的雇用・人事システムの現状と課題」(1999~2016年)、『改訂増補版 健全な学校経営に向けた教従業員評価・賃金制度の構築実務』、『人事評価データの分析入門』(労働情報センター刊)、「大学における“教育力評価”モデルの提案—教員評価・授業評価の検証による教育の質評価に向けて—」(第63回全国能率大会発表論文優秀賞)、「大学発展に向けた教職員のための人材教育」(全私学新聞)ほか多数。

■ 14:45 ~ 16:15

わたなべ けいすけ

渡 辺 圭 祐 氏 [学校法人追手門学院 事務局長]

エンゲージメントを高めるための人事・給与制度設計と浸透手法

- 序. 追手門学院の人事・給与制度の概略
1. 組織設計・人事設計の目的とは?
2. 人事・給与制度とエンゲージメント経営の関係とは?
3. それぞれの組織に応じたテラーメイドの人事設計
4. 職責に応じた賃金体系の構築とは?
5. 定年制とシニア人材の活用をどのように考えるか?
6. 中高クラブ問題にどう対処するか?
7. 新しい人事・給与制度をいかにして組織に反対なく浸透させるか?
8. まとめ

一橋大学大学院 国際企業戦略研究科(経営法務専攻)博士課程単位取得満期退学。

2003年芝浦工業大学に入職し、入試課や知的財産本部などを経験。他、経済産業省にて地域経済政策、JAXA(宇宙研究開発機構)にて知的財産コーディネーター業務などに従事。内閣府において、教育研究機関におけるイノベーション環境の整備など科学技術イノベーション政策の立案を行ってきた。また、福岡にある学校法人中村学園にて経済産業省の支援を受けた地域産学官による新たな学科の創設や、農林水産省の支援を受けた地域資源6次産業化のための地域産学官連携プラットフォームの設立と運営など、数多くの地方創生のプロジェクトなどを手掛けた。

現在は学校法人追手門学院にて、経営戦略の立案、組織、人事制度設計、学部設置、DX改革、CXデザインなどを手掛ける。

本セミナーの概要

このたび令和5年の人事院勧告が発表され、今年度の国家公務員の給与については、月給が平均で0.96%(3,869円)増、ボーナス(期末・勤勉手当)は0.1ヵ月分引き上げ4.5ヵ月分とされました。民間給与との較差を解消するために大卒・高卒の初任給がともに10,000円を超えて引き上げられますが、平成2年以来33年ぶりとなります。月給、ボーナスともにプラス改定は2年連続となっており、厳しい経営状況にある学校法人にとっても、今後の人事・賃金制度を考える上で大きな影響を与えることになりそうです。

毎年恒例の本講座もご好評のうちに回を重ね、本年で50回目を迎えます。

私学理事者並びに給与関係ご担当者の多数ご参加をお待ちしております。